



コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の取り組み

～学校と地域が協働する新しい時代の学びへ～

市では、学校・家庭・地域が一体となって、目標やビジョンを共有しながら子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を目指して、平成24年度から、コミュニティ・スクールの取り組みを進めています。

令和3年度に新たに2校がコミュニティ・スクールに認定されたことで、市内すべての小・中学校が、コミュニティ・スクールとなりました。今回は、その取り組みの様子を紹介します。

コミュニティ・スクールとは…

「学校運営協議会」を設置している学校のことを指します。教育委員会から委嘱、任命された保護者や地域住民等が学校運営協議会委員として一定の権限と責任を持って、学校運営の参画、支援を促し、地域に開かれた信頼される学校づくりを進めています。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)

地域の住民

保護者

教職員・校長

〔運営協議会の構成員〕



学校の運営に資する
活動を行う者

例えば、学識経験者、
学童保育所、放課後子ども
教室の方々…

関係行政機関の職員

【主な取り組みと方向性】

- 学校運営の基本方針を承認し、学校運営に積極的に関わっています。
- 児童・生徒の地域への愛着やふるさと意識を育むために、地域の人をゲストティーチャーに招いたり、ふるさと体験学習を行ったりしています。
- 地域の歴史や文化について学習を深め、地域の実態に即した特色ある学校づくりを進めています。



このように、学校運営に保護者や地域の意見を反映させることで、子どもたちの豊かな成長を支える学校づくりが進められています。

学校と地域が協働する新しい時代の学びに向けて、今後もさらなる取り組みを行っていきます。



亀山市名誉市民

彫刻家 中村 晋也

作品介绍「ふるさとあい」Vol.75

「聞こえるよ」昭和56(1981)年

右手でワンピースの裾を持ち、左手は耳の近くにかざして、何かに聞き入るように立つ少女。「聞こえるよ」のコスチュームも、一連の少女像シリーズと同じものです。ここでは、インド綿の柔らかな風合いや、皺の表現はやや単純化され、少女のしぐさやポーズに視線が誘われる作品です。目を閉じ、口を微かに開けた少女は、陶醉しているようにも見え、心地よい音が聞こえているような印象を与えてくれます。少女に聞こえてきたのは、近づいてくる小さい秋の音色でしょうか。



56cm(高さ)×24cm(幅)×16cm(奥行き)
中村晋也美術館

特別協力 (公財)中村晋也美術館 (URL <http://www.ne.jp/asahi/musee/nakamura/index.html>)



情報交流ひろば となりまち



伊賀市

生誕100年 もとながさだまさ 元永定正展 一寸先は光 ～伊賀が生んだ美術の滑稽～

元永定正さん(1922～2011)は、旧阿山郡上野町(現・伊賀市)に生まれました。何気ない日常的な視点を通じて、新たな美にたどり着くことをめざした作品は、ユーモアの中にも深い詩情をたたえ、国内外で高い評価を得ました。

豊かな自然、城下町の町並み、そして歴史・文化が薫る伊賀の地を愛した元永定正さんの生誕100年を記念し、伊賀にゆかりのある作品などの展覧会を開催します。この機会にぜひ、元永定正作品の魅力に触れてください。



とき 10月1日(土)～31日(月)
午前9時～午後4時30分 ※火曜日定休
ところ 国史跡旧崇広堂(伊賀市上野丸之内78-1)
料金 500円 ※高校生以下無料
問合先 伊賀市文化振興課 ☎0595-22-9621

伊賀市秘書広報課(☎0595-22-9636)

甲賀市

忍術書「かんりんせいよう 間林清陽」発見!

忍術書「ばんせんしゅうかい 万川集海」のルーツとされる書「間林清陽」が市内にある神社の蔵の中から発見されました。

今回発見された書物は、江戸中期に作成されたと考えられ、表題には「軍法間林清陽巻中」とあり、ほかにも上下巻が存在すると推定されます。

甲賀市では、この忍術書のレプリカと、書物に記載されている「忍器」や「忍具」を再現し、甲賀流リアル忍者館で展示します。



▲見つかった「間林清陽」の表紙



▲「犬に吠えさせないようにする術」など約50箇条が書かれています。

とき 9月10日(土)から展示開始
ところ 甲賀流リアル忍者館 ※月曜日休館
(甲賀市甲南町竜法師600)
入館料 無料
問合先 甲賀市観光企画推進課 ☎0748-69-2190

甲賀市秘書広報課(☎0748-69-2101)